

高 知 県
公立学校事務研究会

グランドデザイン



このグランドデザインは、私たちの行動指針となるものです。龍馬に学び、学校事務職員として「教育の質の向上に貢献する」という、志を持って職務にあたります。

はじめに

高知県公立学校事務研究会（以下県事研という）のグランドデザインは、県事研の目的や目標、使命、研究中期計画等を示すことで、県内各支部の研究の指針となり、かつ学校事務職員の果たすべき役割について学校事務職員の意識化と、他職への共通理解を図ることができるよう作成しました。

II 目標

学校事務の将来像を示す

時代に対応した学校事務を創造していきます

学校事務の質の向上を図る

学校力向上のために学校事務を高質化していきます

学校事務職員のあるべき姿を示す

学校事務職員像を継承し創造していきます

学校事務職員のキャリア形成を行う

学校事務職員の職能成長を促進していきます

「公教育に寄与する」という目的のもと、上の四つの目標を設定し、目標達成に向けて研究、活動をしています。研究中期計画に沿って、本部・支部・各共同実施組織や各共同実施体制が連携し、計画、実施していきます。

学校事務職員も高知家の家族の一員！！

高知県では「高知県はひとつの大家族やき」をキャッチフレーズとし、県全体を「家」と見立てています。

私たち学校事務職員もその家族の一員として、学校事務職員同士が連携し、高知県の全ての子どもたちを支え育んでいきます。



I 目的

会員相互の連携のもとに学校事務の研究を深め、学校事務職員の資質の向上を図り、公教育に寄与する

予測困難な将来を担う子どもたちの教育を支える基盤となる学校事務をつかさどる職員として、その役割を果たすことができるよう、研究活動を行っていきます。そして質の高い教育を実現するために、これまでの研究を継承しつつ、県内すべての学校の学校事務に責任を持ち公教育に貢献していきます。

III 学校事務職員の使命

学校教育目標達成のため、専門性と能力を最大限に発揮し、教職員と協働し、地域と連携して学校経営に積極的に参画する

学校事務職員は、学校組織における総務・財務等に通じる唯一の専門職員として、校長を学校経営面から補佐するとともに、学校運営に主体的にかかわっていきます。

県事研は、学校事務の質の向上のための「研究」と事務職員の資質の向上のための「研修」を中心に活動をしています。学校事務のシステム化や学校事務職員の組織化を図り、教育部門と連携することで、質の高い学校経営の実現に繋げるための方策を考えています。公教育に携わる事務職員として、県内すべての学校に安定した学校事務が提供できるように取り組んでいきましょう。

私たちは、学校の中では事務部門のリーダーです。経験年数にかかわらず、それぞれの立場でリーダーシップを発揮していきましょう。

はじめに

高知県公立学校事務研究会（以下県事研という）のグランドデザインは、県事研の目的や目標、使命、研究中期計画等を示すことで、県内各支部の研究の指針となり、かつ学校事務職員の果たすべき役割について学校事務職員の意識化と、他職への共通理解を図ることができるよう作成しました。

II 目標

学校事務の将来像を示す

時代に対応した学校事務を創造していきます

学校事務の質の向上を図る

学校力向上のために学校事務を高質化していきます

学校事務職員のあるべき姿を示す

学校事務職員像を継承し創造していきます

学校事務職員のキャリア形成を行う

学校事務職員の職能成長を促進していきます

「公教育に寄与する」という目的のもと、上の四つの目標を設定し、目標達成に向けて研究、活動をしています。研究中期計画に沿って、本部・支部・各共同実施組織や各共同実施体制が連携し、計画、実施していきます。

学校事務職員も高知家の家族の一員！！

高知県では「高知県はひとつの大家族やき」をキャッチフレーズとし、県全体を「家」と見立てています。

私たち学校事務職員もその家族の一員として、学校事務職員同士が連携し、高知県の全ての子どもたちを支え育てていきます。



I 目的

会員相互の連携のもとに学校事務の研究を深め、学校事務職員の資質の向上を図り、公教育に寄与する

予測困難な将来を担う子どもたちの教育を支える基盤となる学校事務をつかさどる職員として、その役割を果たすことができるよう、研究活動を行っていきます。そして質の高い教育を実現するために、これまでの研究を継承しつつ、県内すべての学校の学校事務に責任を持ち公教育に貢献していきます。

III 学校事務職員の使命

学校教育目標達成のため、専門性と能力を最大限に発揮し、教職員と協働し、地域と連携して学校経営に積極的に参画する

学校事務職員は、学校組織における総務・財務等に通じる唯一の専門職員として、校長を学校経営面から補佐するとともに、学校運営に主体的にかかわっていきます。

私たち事務職員は、学校組織における総務・財務等に通じる唯一の専門職員として、校長を学校経営面から補佐し、学校運営に主体的にかかわっていかねばなりません。そのためには、総務・財務等の基礎基本・条例規則をしっかりと身につけることが必要不可欠です。また、定型的な業務、事務処理を迅速かつ正確にすることも基本です。そのうえで、事務職員として専門性を発揮して学校経営に参画していくことが求められています。

働き方が問われている今、ミスを未然に防ぐことも大事ですね。時間に余裕を持ち、見返しをするなど、自分の仕事に段取りをつけることも大事です。

事務職員の専門能力について、「リソース・マネジメントをつかさどるには、行政職員としての一般的な専門能力に、教育に関する一定の専門性を身につけることが必要不可欠である」と学校事務誌の中に書かれてありました。

私たちも常に学び続けることが必要ですね。先を読んで柔軟な発想で、職としての役割を果たすことができるように学び続けていきましょう。

高知県公立学校事務研究会 研究中期計画（H29～H31）

◎目的 『子どもたちの豊かな学びを保障するため、学校事務の協力支援体制を充実するとともに、学校事務職員として公教育に貢献する』

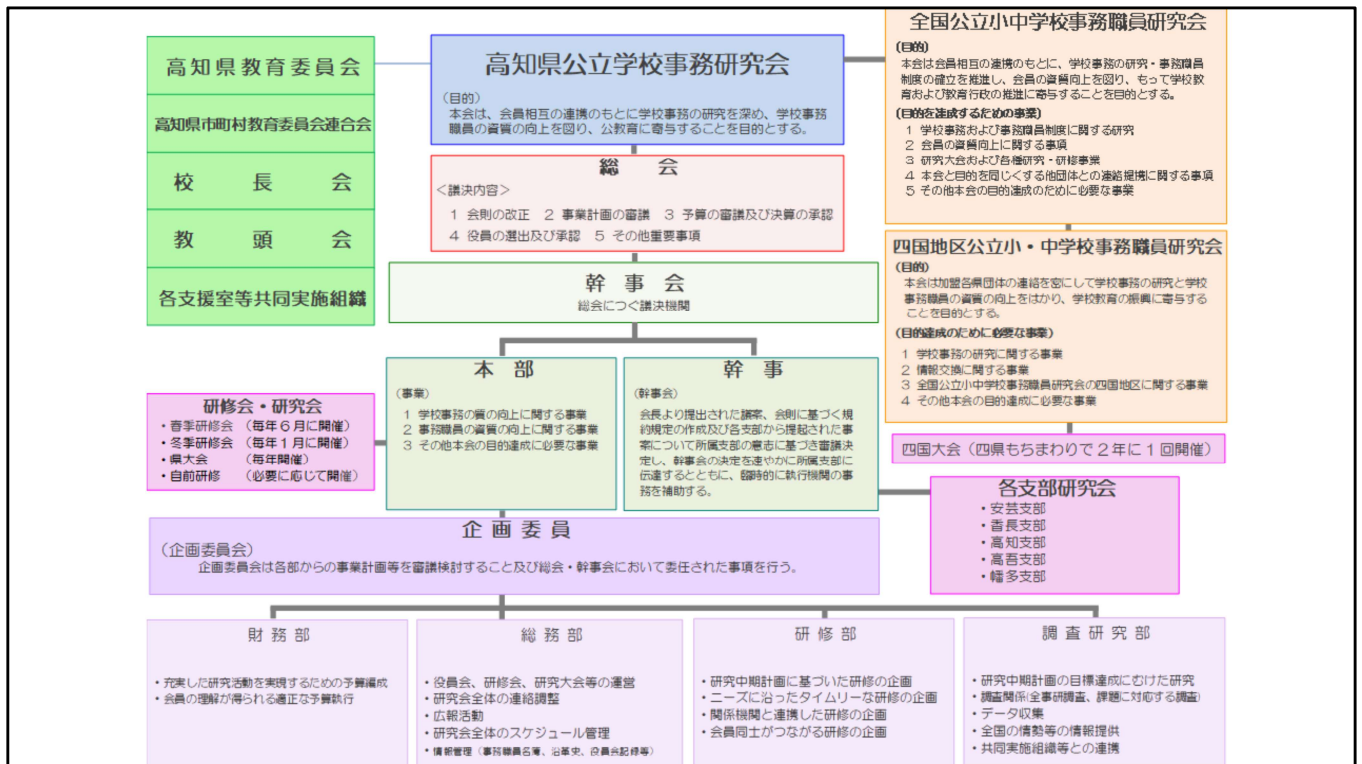
◎研究中期計画の目標 『アーム学校における学校事務職員の役割を明確にする』

【キーワード】

- ①学校経営への参画
外的マネジメントの実施・学校運営事務の整理
- ②学校事務職員の育成
育成体制の構築
- ③業務改善

		H29	H30	H31
研究 年度目標		学校事務職員の新たな役割を学ぶ	学校事務職員の新たな役割を検討する	学校事務職員の新たな役割を提案する
年間 研究 内容 概要	学校経営 への参画	○学校運営事務について学ぶ ○外的マネジメントを考える 春季研修会・県大会で学習する 冬季研修会で確認する	○新たな標準的職務を考える ・各関係機関との協議を進める	○新たな標準的職務を提案する ○校務分掌への位置づけを考える
	学校事務職員 の育成	○育成の内容・方法について考える ・関係機関と連携して研修体系を考える ・育成のしくみや体制を考える ・育成の役割や内容の改善を行う		○育成の内容・方法について提案する
	業務改善	○各支部、市町村共同実施組織の取組に学ぶ アンケートの実施、取組の集約 チームで取り組む業務の集約・開発	○業務改善について情報収集し発信・共有する	
研究大会		第49回高知県公立学校事務研究大会（佐川大会）	第22回四国地区公立小中学校事務研究大会（徳島大会） 兼 第90回高知県公立学校事務研究大会	第51回高知県公立学校事務研究大会
各支部研究会		○各支部研究会で取り組む	○各支部研究会で取り組む	○各支部研究会で取り組む
各共同実施組織 各共同実施体制		○共同実施組織・体制の新たな役割を学ぶ	○共同実施組織・体制の新たな役割を考える	○共同実施組織・体制の新たな役割を提案する

県事研では、学校事務で「教職員」「教育活動」「組織」「教育関係機関」「地域」を繋いできました。そして、現在はいえの三つのキーワードに同時進行で取り組んでいます。私たちも日々の業務を通して「つかさどる子」（6ページ目「学校事務をつかさどる」のイメージ図）の視点を持って取り組んでいきましょう。これまで研究してきた内容については、2019年研究集録第51集を参照してください。

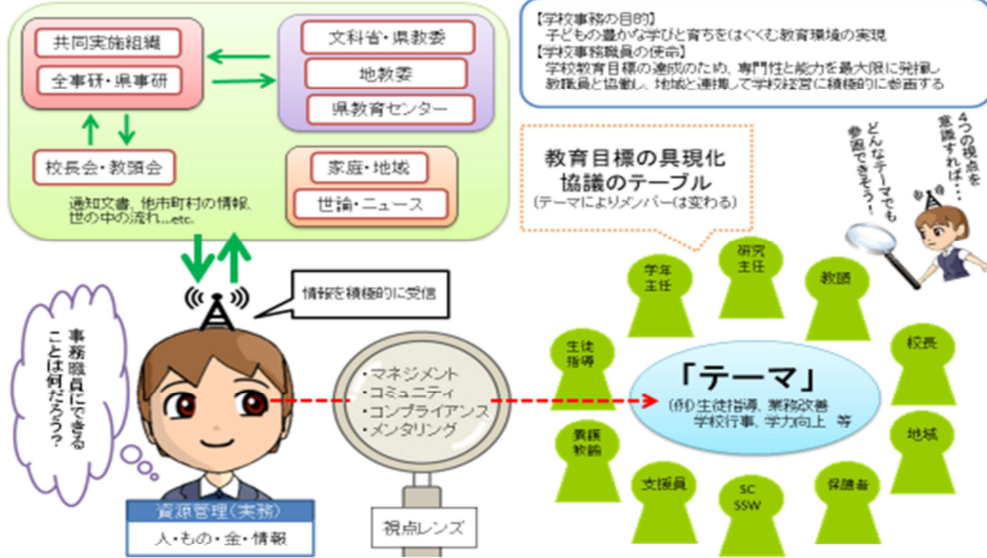


全国公立小中学校事務職員研究会（通称 全事研）や四国地区公立小・中学校事務職員研究会（通称 四事研）に加盟し活動しています。国の新しい情報や、全事研の先に一步進んだ研究内容、他県の情報収集し、県内の研修会で情報発信したり、研究への参考にしたりしています。

全事研のWebページでは、これまで行った調査の結果や全国の事務職員の方々が取組をされた実践事例などが掲載されています。自分が抱えている課題を解決するヒントがあるかもしれません。時間を見つけて覗いてみてください。

「学校事務をつかさどる」をイメージしてみよう

高知県公立学校事務研究会(資料)



教育の質の向上には、学校事務を教育活動の中に連動させていくことが必要です。つかさどる子の視点を持って、学校の教育課題を組織の一員として解決していきましょう。